

QUICK-D AQUA II

温風式乾燥機

品番 QDA-L6S

取扱説明書

- この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも取り出せる所に大切に保管して下さい。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.



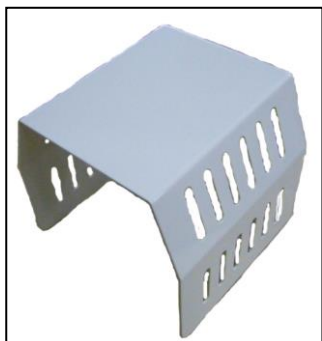
もくじ	ページ
梱包内容	1
安全上のご注意	2～3
各部のなまえ	4～5
スタンドの使用方法	5～6
本体使用前の確認	7
本体運転使用方法	8
フィルターお手入れの仕方と交換の方法	9～10
ホース交換方法	11
自動OFF機能について	12
故障かな?と思ったら	12
操作部の異常表示	12
本体仕様	13

梱包内容・組立方法

1. 梱包を開いたら、組立前に内容物を確認ください。



本体



ホースカバー



小型ノズル



スタンド組立



ホース


安全上のご注意

必ずお守りください


ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。その表示と意味は、次のようになっています。

- この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

 **警告**：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

 **注意**：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容

- 本文中の絵表示の意味です。

 は、してはいけない「禁止」の内容です。



一般的な禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



水ぬれ禁止



接触禁止



水場使用禁止

● は、必ず実行していただく「強制」の内容です。



必ず行う



さし込みプラグを抜く



警告

3相交流200V以外では使用しない



- 火災・感電の原因となります。

設置は取引先に依頼する



- 不完全な設置は、転倒・感電・火災・やけどの原因となります。

ブローフィルターを交換する前は、必ず電源プラグを抜く



- 感電やけがをすることがあります。

コードが傷んだときは使用しない

コードが変形・変色・損傷している、コードの一部がいつもより熱い、コードを動かすと通電したり、しなかったりするときは使用しない。



- 火災・感電の原因となります。

分解や修理をしない

改造しない。また、修理技術者以外の方は、分解や修理をしない。



- 火災・感電・けがの原因となります。修理は設置した取引先にご相談ください

屋外など水のかかる場所に設置しない



- 漏電・感電の原因となります。



警告

コードを乱暴に扱わない

コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったりしない。
また、重い物をのせたり、挟み込んだりしない。

- コードが破損し、火災・感電の原因となります。



危険物を置かない

本体の近くにスプレー缶や危険物を置いて使用しない。



- 熱でスプレー缶内の圧力が上がり、爆発や火災の原因となります。

人のいないところで使用しない



- 過熱して火災になる恐れがあります。

異物を入れない

本体の穴やすき間にピンや針金などを入れない。



- 感電や異常動作してけがをすることがあります。

ぬれた手でさし込みプラグを抜きさししない



- 感電やけがをすることがあります。

本体は密閉空間で使用しない

塗装ブースなどの密閉空間に本体を持ち込んで使用しない。



- 爆発や火災の原因となります。



注意

お手入れは本体がさめてから



- 感電ややけどの原因となります。

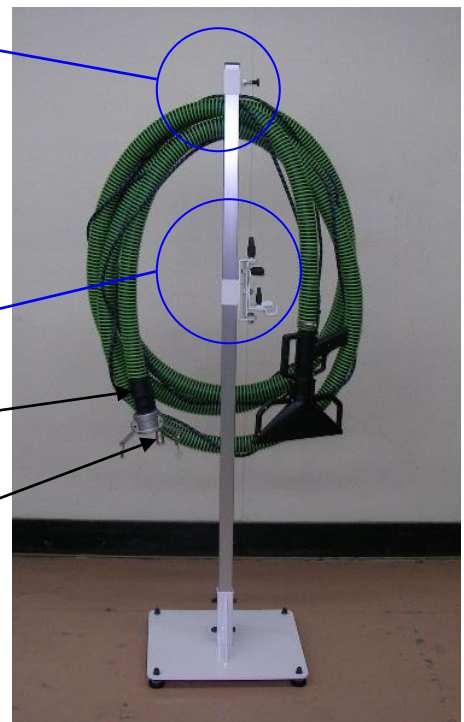
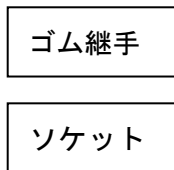
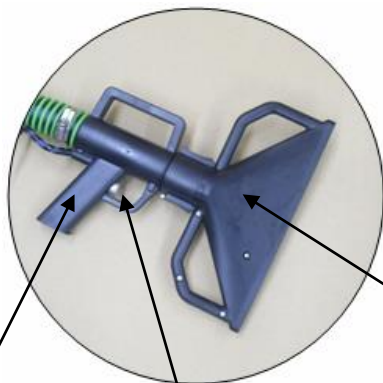
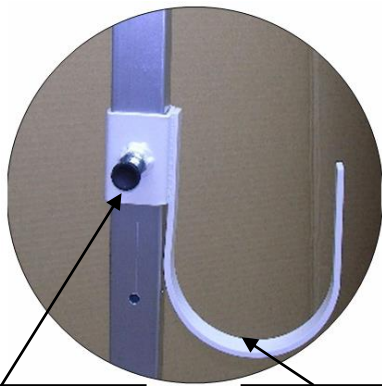
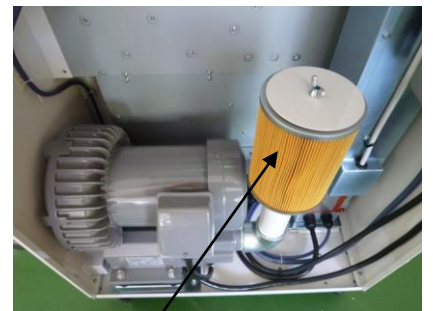
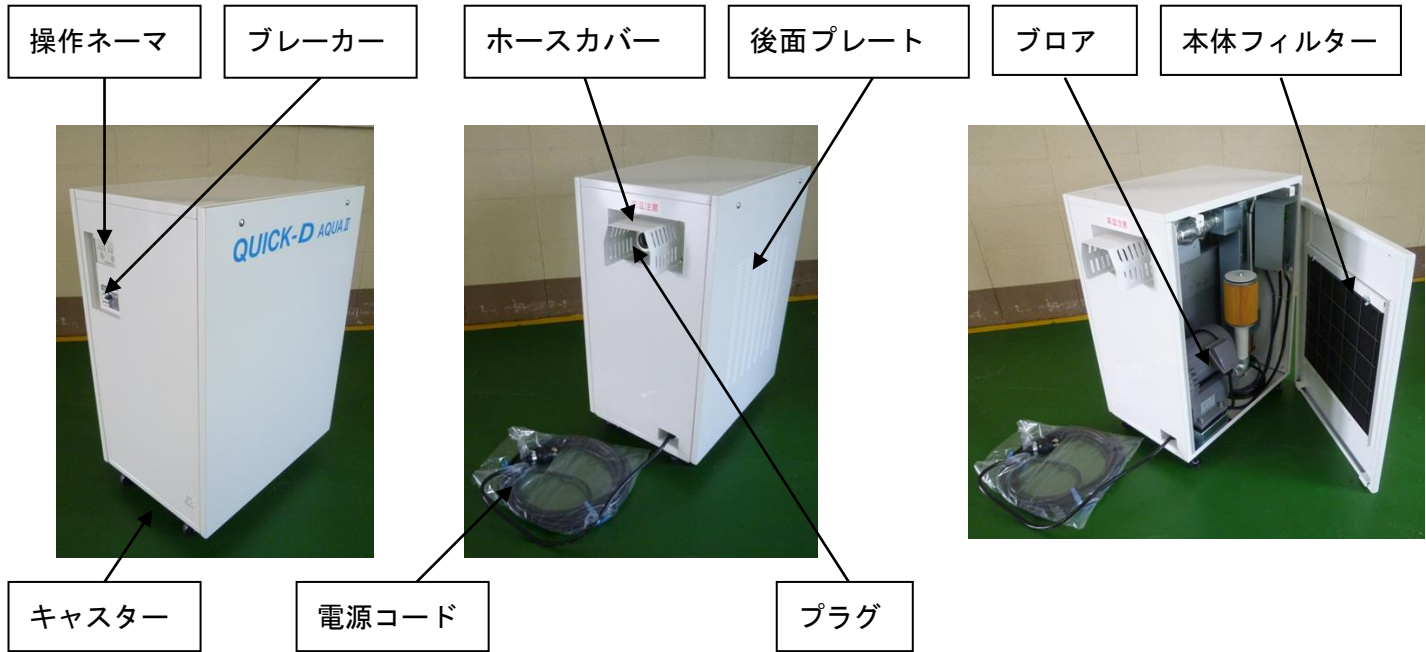
高温部に触れない

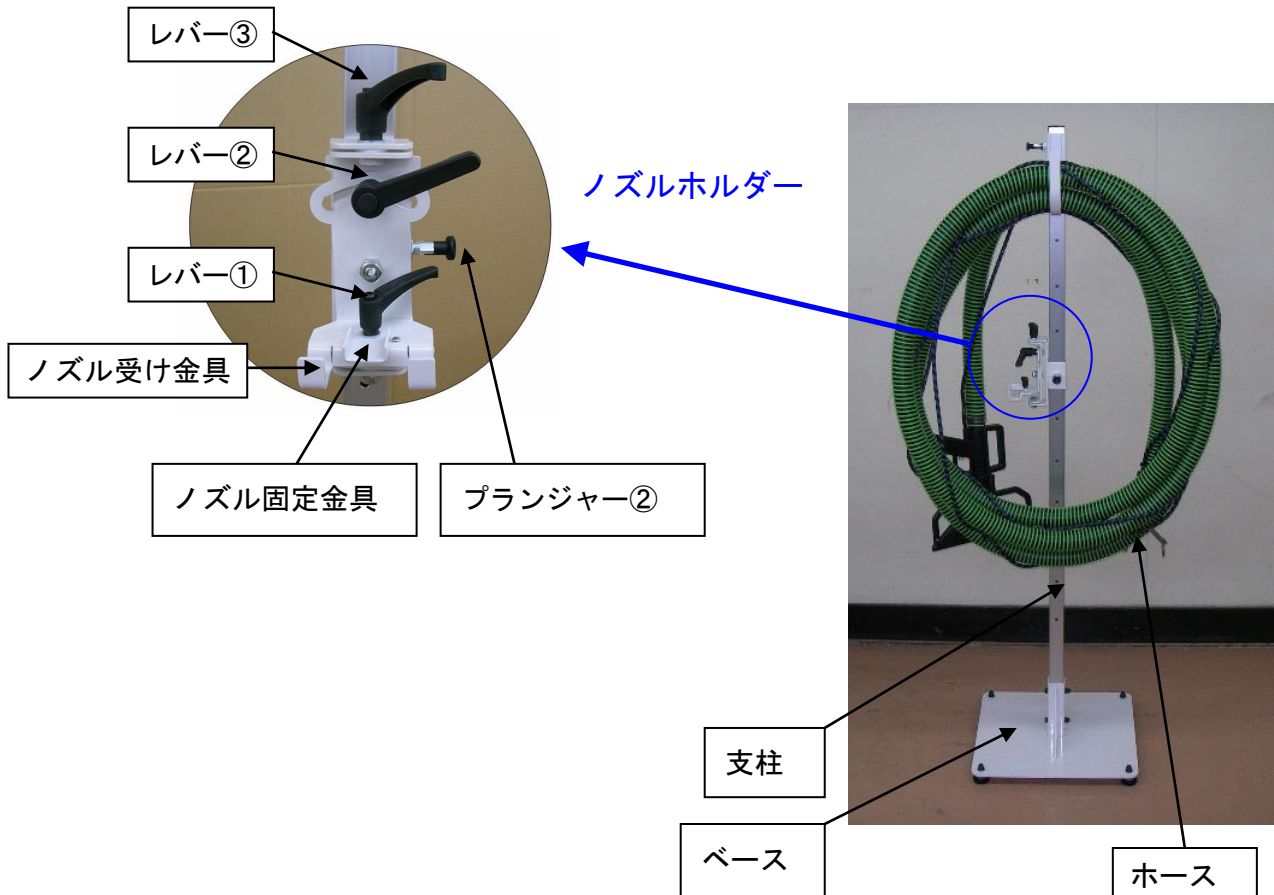
使用中や使用後しばらくは本体上部・前面などの高温部に触れない



- やけどの原因となります。

各部のなまえ

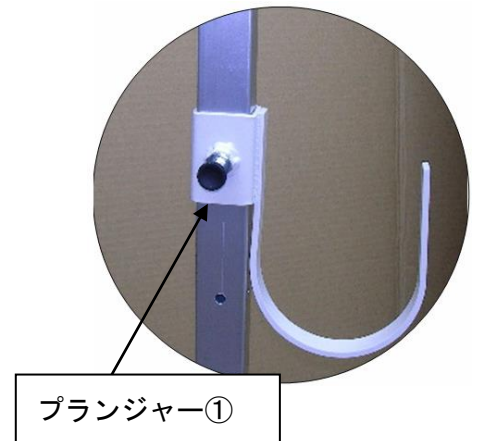




スタンドの使用方法

1 **ホースハンガー** の高さ調整をする。

1. プランジャー①を引張り、固定をはずします。
(引張ることにより支柱の穴からプランジャー先端が外れます)
2. 高さの調節を行い、プランジャー先端を支柱の穴にはめて固定します。
(カチッとハマった音がしたことを確認して、固定されていることを確認する。)



プランジャー
ロック状態

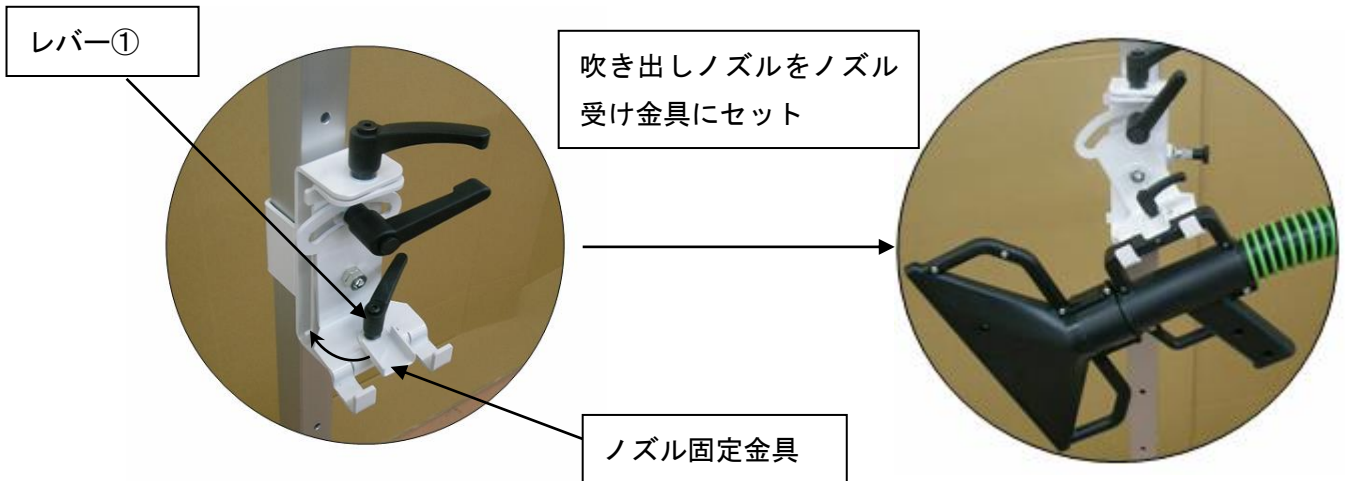


プランジャー
ロック解除状態



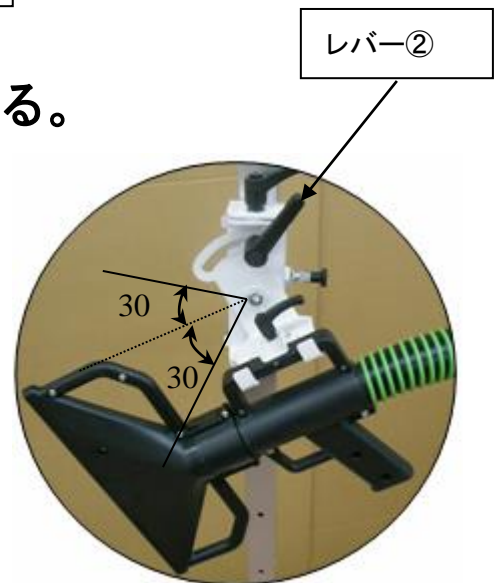
2 吹き出しノズル を固定させる。

1. レバー①を反時計周りに回してノズル固定金具を緩め、左方向によせる。
2. 吹き出しノズルをノズル受け金具にセットしてノズル固定金具を吹き出しノズルの上に移動させ、レバー①を時計周りに回して締め付ける。



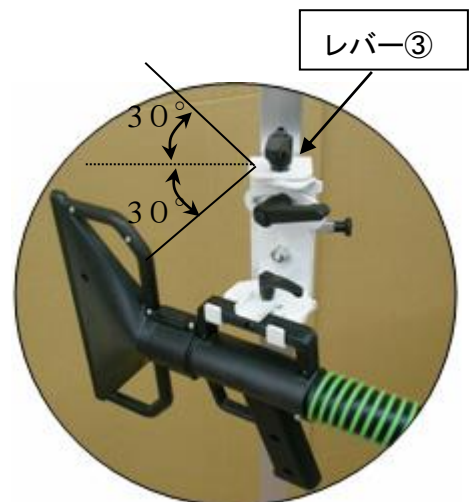
3 吹き出しノズル の角度を調節する。

1. 吹き出しノズルの上下方向の角度調整方法
(1) レバー②を反時計周りに回し、部品の締付けを緩めると上側、下側にそれぞれ30°角度を調節できます。



下側に30度傾けた状態

2. 吹き出しノズルの左右方向の角度調整方法
(1) レバー③を反時計周りに回し、部品の締付けを緩めると奥側、手前側にそれぞれ30°角度を調節できます。



奥側に30度傾けた状態

本体使用前の確認

1 本体とホースの接続を確認する。

1. 本体にホースが接続されていることを確認する。
2. 接続部のロックがきちんとされているか確認する。



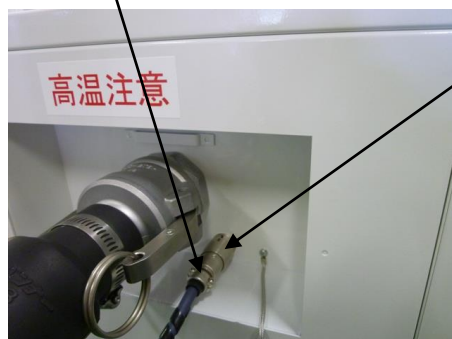
ホースカバー



2 本体とコネクタの接続を確認する。

1. 本体とホース接続の下部分にコネクタが接続されていることを確認する。
2. コネクタ部を軽く引っ張って接続が外れない事を確認する。

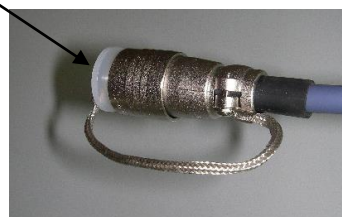
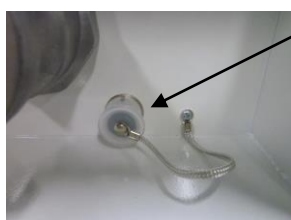
この部分を軽く引っ張ってみる。



この部分を引張るとコネクタが外れるので
取り外す時以外は引張らない事。

- * 本体とホース接続部のホースカバーを取り外した場合は必ず元に戻して下さい。
- * ホースを取り外して保管する時は必ずコネクタに取付けの保護カバーを被せて下さい。

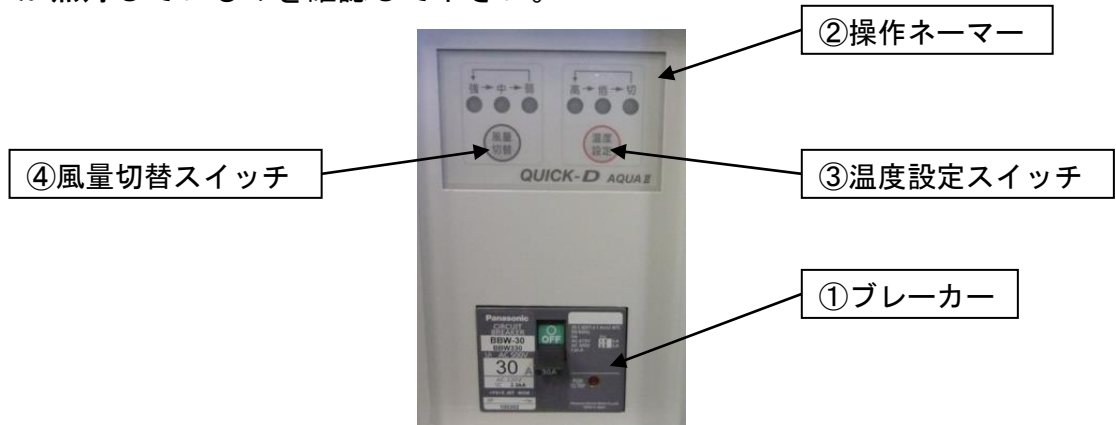
保護カバー



本体の運転使用方法

1 ブレーカー を入れる。

1. 差し込みプラグを電源コンセントに差し込み、本体の①ブレーカーを入れる。
* この状態でブレーカー横の操作部の「切」LED(緑)と風量「弱」LED(赤)が点灯しているのを確認して下さい。



※初期は30秒間送風し、ヒーター内部の空気を掃気後ヒーター通電が可能となります。温度設定スイッチを「高」か「低」にして掃気をしてください。

2 温度設定スイッチ で温風温度を調整する。

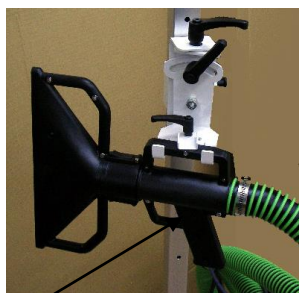
温度設定スイッチ③を押すと「高」→「低」→「切」とLEDが順番に変わります。「高」「低」の状態ではヒーターが通電して所定の温度(13頁参照)でコントロールします。温風が必要でない場合は、温度設定スイッチ③を「切」にセットして下さい。

3 風量切替スイッチ で風量を変更する。

風量切替スイッチ④を押すと「高」→「中」→「弱」とLEDが順番に変わり風量を変更することが出来る。

4 送風スイッチ で送風する。

手元操作部の送風スイッチで送風のON、OFF動作をします。



⑤送風スイッチ

フィルターお手入れの仕方と交換方法

半年に1回以上お手入れをしてください

1 本体フィルター お手入れの仕方と交換方法

1. さし込みプラグを抜きます。



感電やけがをすることがありますので必ず行ってください。

2. 後面プレートを取り外します。
(ネジを2本外し、後面プレートを持ち上げると外れます)

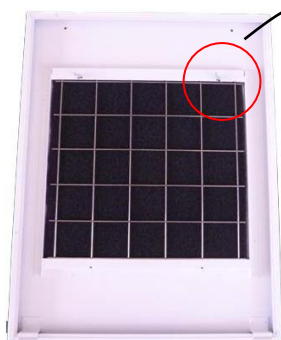


後面プレート

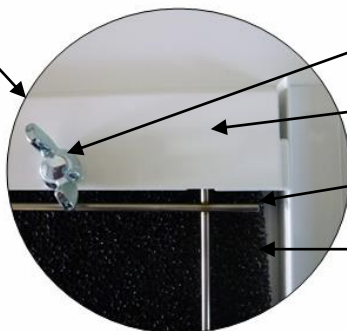


ブローア

3. 後面プレート内面のちょうボルトを2箇所外し、金網固定板と金網を取り外します



本体フィルター内面



ちょうボルト

金網固定板

金網

本体フィルター

4. 本体フィルターを取り出し、表面に付着したほこりやゴミは、掃除機で吸いとるか軽く手でたたいて取ります。汚れがひどい場合は水で軽く押洗いをし、水をよくきってから日かげで干します。

※ 洗剤を使用しないでください。

※ 汚れが落ちない場合はお買い上げの販売店で新しい本体フィルターをお買い求めください。

5. 本体フィルターの手入れが終わったら、本体フィルター・金網・金網固定板を取り付け直してちょうボルトを2本締めます。

2 ブロアーフィルター お手入れの仕方と交換方法

1. さし込みプラグを抜きます。



感電やけがをすることがありますので必ず行ってください。

2. 後面プレートを取り外します。
(ネジを2本外し、後面プレートを持ち上げると外れます)

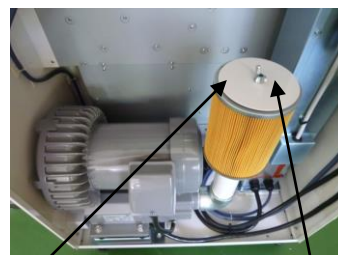


後面プレート



ブロアー

3. ブロアーフィルターの蓋を固定しているチョウボルトを外し蓋を開けます



ブロアーフィルターの蓋

チョウボルト

4. ブロアーフィルターを取り外し、表面に付着したほこりやゴミは、掃除機で吸い取るかエアガンで落とします。

※ ブロアーフィルターは紙製ですので水洗いによるクリーニングはできません。

※ 汚れが落ちない場合はお買い上げの販売店で新しいブロアーフィルターをお買い求めください。

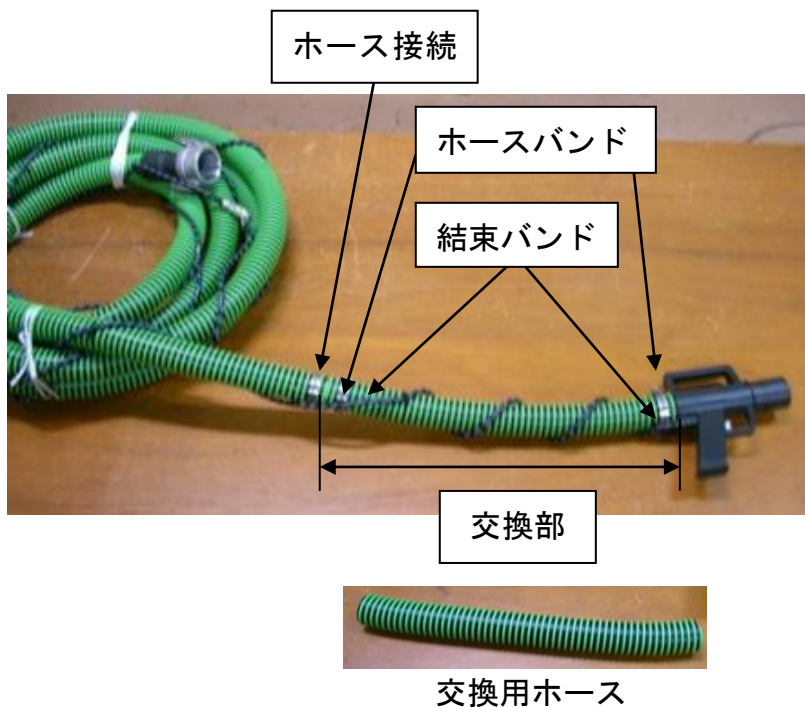
5. ブロアーフィルターの手入れが終わったら蓋を閉めてチョウボルトで固定し、後面プレートを取り付け直してネジを2本締めます。

ホース交換方法

1. さし込みプラグを抜きます。



感電やけがをすることがありますので必ず行ってください。



2. 結束バンド2本を切ります。
3. ホースバンド2本を緩めます。
4. ノズルを反時計方向に回して巻き付けてあるケーブルを緩め、ホースからノズルを外します。



5. ホース接続部パイプからホースを外し、交換ホースを差し込みます。
6. 分解と逆手順にて組み付けます。



※ホースバンドでケーブルを絶対に縛らないこと。ケーブルは結束バンドでホースに留めてください

自動OFF機能について

自動OFF機能とは待機中のままで60分間、操作部のスイッチ操作がなかった場合にヒーター通電をOFFさせる機能です。自動OFF状態になるとヒーター通電をOFFして切り状態になります。（「切」LEDが点灯状態）自動OFF動作後の操作部のスイッチ操作は通常の操作が出来ます。（初期状態と同じ）

故障かな？と思ったら



警告

ご自身での改造、分解、修理はしないで下さい

- ・ 使用中に普段と異なった状態になったり、不具合が生じた時は、修理を依頼される前に次のことをお確かめください。
- ・ それでも直らないときは、直ちに使用を中止してご購入先（販売店）に連絡してください。

症状	確認してください	処置	参照内容
通電しない。 （操作部のLEDが全て消えている。）	ブレーカーは「ON」になっていますか。	ブレーカーを「ON」して下さい。	操作説明 （8頁）
	差し込みプラグに電源コンセントが差し込まれていますか。	差し込みプラグを電源コンセントを差し込んで下さい。	
送風しない。	本体にホースは接続されていますか。	本体にホースを接続して下さい。	操作説明 （7頁）
	本体にコネクタは接続されていますか。	本体にコネクタを接続して下さい。	
待機モードで通電していたのに「切」になっている。	待機モードで1時間以上通電していませんか。	自動OFF機能で「切」になっていますので再び温度設定をして使用してください。	操作説明 （12頁）

操作部の異常表示

操作部の異常表示が出た場合は表示内容を確認してからブレーカーをOFFにして下さい。
（御連絡時は操作部表示内容を伝えて下さい。）

操作部表示		処置
温度設定部	風量切替部	お買い上げの販売店に御連絡ください。
[高][低][切]LED点滅	消灯	
[高][低]LED点滅	[弱]LED点滅	
[高][低]LED点滅	[中]LED点滅	
[高][低]LED点滅	[弱][中]LED点滅	
[高][低]LED点滅	[強][弱]LED点滅	
[高][低]LED点滅	[強][中]LED点滅	ブレーカーをOFFして10秒以上経ってから再度ブレーカーを入れて運転させて下さい。 直らない場合はお買い上げの販売店に症状をご連絡ください。
[高][低]LED点滅	[強]LED点滅	

本体仕様

品番	QDA-L6S	
電源	三相交流200V 50-60Hz 共用	
消費電力	5.5KW	
吹き出し口温度 (吹き出しノズル無し)	温度設定 高	約9.6℃ (室温20℃) (風量設定 高)
	温度設定 低	約7.3℃ (室温20℃) (風量設定 高)
温度ヒューズ	15.7℃	
本体ユニット寸法	580 (幅) × 410 (奥行) × 821 (高さ)	
本体ユニット重量	約75Kg	

製造元

気高電機株式会社

本社：〒680-0216 鳥取県鳥取市気高町宝木 1561-8 TEL 0857-82-0911

問合せ先：品質サービス専用 TEL 0857-82-0914 (FAX 0857-82-6901)